

過酷環境ドローンチャレンジ（HEDC）の 開催運営に協力しました

－WRS2025 過酷環境F-REIチャレンジ 2025.10.10～12－

■過酷環境ドローンチャレンジ HEDC (Harsh Environment Drone Challenge)

災害現場では、地上や海上の交通手段を使用できないケースが想定され、このような過酷環境下において飛行ロボットやドローンを利用して被害状況の調査や救援物資の供給などを実施することが望まれることになります。

福島国際研究開発機構（F-REI）は、World Robot Summit（WRS）として福島県ロボットテストフィールドおよび周辺地域において2025年10月に過酷環境ドローンチャレンジ（HEDC）を主催し、国内外から精鋭された多くのチームの参加により競技が実施されました。

■HEDCにおけるJDCの役割

JDCは、この大会の準備・計画段階から技術的な支援を行うとともに、HEDCの開催運営に協力いたしました。大会においては、ドローンおよび観客等の安全の管理、チャレンジ用の設備の設置ならびに大会運営補助に携わりました。

右の写真は、JDC会員により大会の支援を行っている状況になります。



本部でのモニターによる監視



離発着場（浪江滑走路）での
安全監視



チャレンジ用の屋内設備の設置

■JDCのノウハウを活かした支援と過酷環境下のドローン活躍への期待

JDCは、会員の弛まぬ技術研さんや相互協力により、ドローン運行等の知識や技術を十分に有しています。本大会ではそれらのノウハウを活かして、安全面やチャレンジ面においても運営に寄与出来ました。大規模災害が想定される我が国において過酷環境におけるドローン活躍は今後大きく期待されるものであり、JDCとしても引き続き注視・協力してまいります。

報告：下村博之（総務委員会委員長）